

東北次世代がんプロ養成プラン セミナー実施報告書

(セミナー名称) 第 649 回宮城産科婦人科学会集談会 (第 7 回 WEB 集談会)・(第 62 回日本婦人科腫瘍学会 学術講演会)	
担当者氏名： 八重樫 伸生	所属： 婦人科学分野
内線： 7251	Email: nobuo.yaegashi.c7@tohoku.ac.jp
1. 実施年月日：	
令和 3 年 1 月 29 日(金) 15：00～2 月 4 日 (木) 15：00 (WEB 配信)	
2. 開催場所：	
WEB 配信	
3. 関連分野：	
産婦人科	
4. 対象者：	
主に産婦人科領域の医師・がん医療従事者・がん研究者	
5. 参加人数：(お分かりの範囲で内訳をお知らせください。教員、学生など)	
参加人数：176 名 学内：13 名 学外：163 名	
6. 成果：	
<p>現在問題となっている子宮頸癌 (HPV) ワクチンについて、横浜市大の宮城悦子教授と宮城県産婦人科医会長の濱崎洋一先生の二人に講演していただいた。ワクチンの開発、有効性と安全性、ワクチン接種の世界の動向、新ワクチンの開発と臨床応用の見通し、子宮頸がん検診、子宮頸癌の発生機構、自然史、診断法や治療法など、多岐にわたる内容で、わかりやすい、学術的にレベルの高い講演だった。オンラインで行ったためか、例年をはるかに超える産婦人科医の参加があり、HPV ワクチンだけでなく、検診や子宮頸癌の成立過程と診断法、治療法などの知識の整理に役立った。</p>	

【当日の会場の様子などの写真がございましたら、添付ください】